

地域医療構想推進委員会の取組について

1 推進区域の設定について

(1) 概要

国は、計画期間の終期となる 2025 年に向け、地域医療構想の更なる推進が図られるよう、病床機能報告上の病床数と必要量の差異等を踏まえ、医療提供体制上の課題や重点的な支援の必要性があると考えられる区域を「推進区域」として都道府県当たり 1～2 か所設定し、課題解決に向けた具体的な取組内容を含む区域対応方針を策定することとした。

(2) 設定された推進区域

東三河北部構想区域

(3) 設定理由

東三河北部構想区域は、人口減少が進むことが見込まれ、また、約 6 割の入院患者が隣接する構想区域に流出するなど、入院に係る医療を提供する一体の構想区域として医療提供体制上に課題があることから、隣接する構想区域を含めた病床の機能分化や連携促進等、課題解決に向けた取組が必要である。

2 具体的対応方針の決定状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

<公立・公的>

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意・検証済	協議・検証中	協議・検証未開始			
病床数	26,897 床	26,897 床	100%	0 床	0%	0 床	0%
医療機関数	63 機関	63 機関	100%	0 機関	0%	0 機関	0%

<民間医療機関>

	総計	対応方針の策定・検証状況					
		合意	協議	中	協議未開始		
病床数	29,862 床	29,862 床	100%	0 床	0%	0 床	0%
医療機関数	480 機関	480 機関	100%	0 機関	0%	0 機関	0%

（令和 4 年 3 月 24 日付け厚生労働省医政局長通知に基づく公表事項）

3 紹介受診重点医療機関に関する協議

外来機能の明確化・連携を強化し、患者の流れの円滑化を図るため、外来機能報告の結果を基に、外来医療の実施状況や紹介患者への外来を担う意向等を確認し、地域医療構想推進委員会において協議の上、下記医療機関を紹介受診重点医療機関として公表した。

<紹介受診重点医療機関一覧>（令和 6 年 4 月 1 日現在）

構 想 区 域	医 療 機 関 名
名古屋・尾張中部 (18)	愛知県がんセンター、名市大附属東部医療センター、名市大附属西部医療センター、総合上飯田第一病院、名鉄病院、日赤名古屋第一病院、名城病院、名古屋医療センター、名大附属病院、日赤名古屋第二病院、名市大病院、藤田医大ばんだね病院、名古屋共立病院、名古屋掖済会病院、中部労災病院、中京病院、名古屋記念病院、大同病院
海部 (2)	津島市民病院、海南病院
尾張東部 (4)	公立陶生病院、藤田医科大学病院、愛知医大病院、旭労災病院
尾張西部 (2)	一宮市立市民病院、総合大雄会病院
尾張北部 (4)	春日井市民病院、徳洲会総合病院、江南厚生病院、小牧市民病院
知多半島 (4)	半田市立半田病院、あいち小児保健医療総合センター、公立西知多総合病院、国立長寿医療研究センター
西三河北部 (2)	トヨタ記念病院、豊田厚生病院
西三河南部東 (2)	岡崎市民病院、藤田医科大学岡崎医療センター
西三河南部西 (2)	刈谷豊田総合病院、安城更生病院
東三河北部 (1)	新城市民病院
東三河南部 (3)	豊橋市民病院、成田記念病院、豊川市民病院

愛知県計 44 医療機関